

# 学生新聞

放送大学  
埼玉学習センター  
埼玉CSC交流会  
学生新聞  
編集委員会  
〒330-0853  
さいたま市大宮区  
錦町682-2  
TEL048-650-2611

## 3222名に喜びの日

### 全国の卒業生・修了生

#### 埼玉学習センターは143名

2012年度  
学位記授与式および  
卒業・修了祝賀パ  
ーティ開催

2012年度学位記授与式、卒業・修了祝賀パーティが左記のとおり開催されます。全国の卒業生・修了生は3222名(学部2911名、大学院311名)、埼玉学習センター所属の卒業生・修了生は学部132名、大学院11名で合計143名です。2012年9月の卒業生・修了生の方も出席できます。

#### 金剛賞に 大内和彦さん

#### 生涯学習奨励賞授与式

平成24年度第2学期生涯学習奨励賞の授与式が3月24日(日)13時30分から開催されます。各賞十三名の受賞者は左記のとおりです。

#### 金剛賞 大内和彦さん

#### 菅 敦子さん お二人が受賞

2012年度放送大学エッセイコンテストにおいて、埼玉学習センター所属の稲垣安代さん「私にとっての生涯学習と社会参加」、菅 敦子さん「放送大学で学んだ生き

がい」が見事受賞されました。3月24日(日)に表彰式が行われます。エッセイコンテスト入賞者の作品は、ホームページからもご覧いただけます。

平成25年度第1学期の入学者の集いは、4月6日(土)13時30分から埼玉学習センター8階講堂で開催されます。

全国の入学希望者(集団入学等を除く)は約2万5千6百名、埼玉学習センター所属の入学希望者は、1274名でした。当日は、学習上の留意事項、学習センターの利用方法等の説明の後、学習相談や各サークル紹介

## 探訪コーナー

### 千葉学習センター 第4回秋祭り 実行委員長 小滝つるる

埼玉学習センターの皆さんこんにちは。私たち千葉学習センターはJR総武線の幕張駅やJR京葉線の海浜幕張駅から徒歩15分位のところにあります。放送大学本部と隣接している為、大学に向かっ歩きビルの中に、電波塔が見え隠れしてうれしくなります。

さて、千葉からの話題は、2012年度に行われた学園祭「秋祭り」です。バザーの提供品であるなどが行われます。

平成25年度第1学期の面接授業の空席発表は4月18日(木)です。追加登録期間は、4月24日(水)から科目ごとに定められた追加登録受付期限まで(通常は開講日の1週間前まで)です。空席状況は、学習センター

の掲示またはキャンパス・ネットワーク・ホームページでご確認ください。

再視聴施設のある三郷・和光の公開講演会に参加して

2月16日の三郷市の講演『「五感」で学び楽しむ、まちづくり』(五感生活研究所 山下柚実代表)では、人間の五感(視覚・聴覚・臭覚・味

覚・触覚)の中でも視覚の重要性を知りました。3月10日の和光市の講演『「目」の世界を拓く!』(目白大学特命学長補佐 関根龍子教授)は、生憎春の嵐での交通機関の混乱で、講演の終了一〇分前に駆けつけました。放送大学の学部・大学院で学んだ先輩のお話を伺えなく残念でした。両日とも意見交換会の

参加者が少なく、今後の課題ではないでしょうか。(岡里)

CSCとは  
放送大学埼玉CSC交流会は、各サークル、同窓会、学習センターが一体となって、埼玉学習センターを楽しい学びの場としてゆこうとして結成された団体です。皆様のご協力を。



菜の花咲く千葉より、これからもよろしくおねがいいたします。(寄稿)

## 後継者選び

### 笹原誠二

2月中旬ともなると、会社内では人事異動の内示情報飛び交うようになる。私も会社勤めをしている頃は、自分の後継者を誰にするかと思悩んだこともある。今でもサークルの会長という立場で5年経過したので、今年こそ次の会長を誰かにお願いしたいと考えている。

そのため、その候補者として3人の副会長を選び、その中から会長にふさわしい人や役員候補の構想を意中に温めてきた。

今年も3人の副会長を埼玉フェスタの実行委員として選出し、その中で参加意欲の向上を図り、またサークル活動の中で主たる行事の幹事役をお願いして、その企画力や実行力を拝見させていただいた。

私は常日頃、自分がその分野の責任者についていた時は、3年後には次のリーダーの養成づくりを心掛けてきた。その選出の要件は、まず周りの人に信頼されて、その人のもとで皆が行動していける人物なのか、つぎに充分にリーダーシップを発揮して他の人をまとめていけるか、さらに新しいことに挑戦していける企画力と実行力を持っている人なのかで判断してきた。

幸い、今年の後継者選びは順調にいけそうな気がしている。そして私の3年越しの構想が実現できているのではないかと考えている。

祝卒業・祝入学  
埼玉学習センター所長  
菅野峰明

卒業生・修了生の皆さん、卒業おめでとうございます。埼玉学習センター所属の平成二十四年度卒業・修了生は一四三名で、その内奨励賞を受賞された方もいます。皆さんは幾多の困難を克服して卒業、修了したわけですから喜びも一入であろうと思います。

皆さんは、テレビやラジオそしてDVDプレイヤーやビデオあるいはインターネット配信の放送科

習センターの入学者は大学院を含

めで一二七四人です。その中で卒業を目指す全科履修生は三二六人、選科履修生は五三一人、科目履修生は二六五人です。また、入学者のうちで六割に近い、七一七人はいわゆるリピーターでありまして、さらに勉強を続けたいと思っ

ご卒業・ご入学を祝して  
埼玉CSC交流会  
代表 岡里順子

ご卒業の皆様 おめでと  
うございます。放送大学  
へ入学した目標・動機は  
様々ですが、陽春の  
候「卒業」と言う節目を  
迎えた今の喜びは同じで  
はないでしょうか。

酷暑・厳冬の中の単位  
認定試験、面接授業での  
睡眠との葛藤、レポート  
に四苦八苦と思いはいる  
いろいろありでしょうが、  
放送大学で学んだことは  
人生の一頁として大きな  
輝きとなると思います。

3月下旬にNHK  
ホールで行われる卒  
業式とホテルニュー  
オータニでの祝賀パ  
ーティがございます。埼玉学習  
センターで一緒に学んで  
くださった。

おめでとうございます。埼玉学習  
センターでは、交流を深め  
て登校して、

選択の助言や試験対策の  
秘訣も教えてくれるかも  
しれません。機会を作っ  
てください。

埼玉学習センターには、  
同窓  
生・学習センターが集う  
「埼玉CSC交流会」が  
あります。毎年十月には  
「埼玉フェスタ」を開催  
しています。放送大学で学  
ぶ際の交流を深める一助  
けの場として、面接授  
業の受講やサークル活  
動に積極的に参加する  
ことで、交友も広がり  
ます。科目

# 投稿コーナー

## 探訪 さいたま市大宮区(二)

荒川 良雄

日本鉄道株式会社社であった。高崎線が開業すると、従来の主要な輸送手段であった利根川・荒川などの河川水運は衰退し、鉄道を中心とした、新しい町並みが作られるようになった。上野から熊谷の鉄道開業と同時に開設された埼玉県内の駅は、浦和・上尾・鴻巣および熊谷の4駅であり、明治17年路線が高崎まで全通すると、新たに深谷・本庄各駅が開設されたが、大宮駅は設置されなかった。

江戸時代中山道の宿場町として栄えていた大宮町は町勢衰退の危機に直面し、地元有力者が大宮駅設置運動を展開し、時の県令や日本鉄道株式会社に申し請願を繰り返した。日本鉄道株式会社は「東京ヨリ上州高崎ニ達シ(高崎線)コノ中間ヨリ陸奥青森マテ(東北線)」の列車が運行された。(続き)

## 忘れ物騒動記

無い。ハツとしたが、もくもくとなつて初めて、いつも「よ」と言われた。イライラ息子の車は見えなくなつて歩いている品々を、い電車賃が無いし、自宅へ帰るは当たり前のように持つラしながら「自宅へ帰るのか判らない。それまでの私、その日は小かき自分の抛り所にして帰るよりも、田端へ行くで、忘れたことがないよ」さな袋を持っていったので、いるか、よく思い知ら160円を貸して貰えばバッグの袋だけを持って息子された。頼りにできる物グを取りに行けるので、や自分を証明してくれるその方がはるかに簡単で物は何も無い——というす」と説得するの、15分もかかった。

赤羽駅の交番には、バッグを受け取って帰る途中、赤羽駅で途中下車をして、赤羽の交番で事情を話早々に大枚160円を返した。息子の家へ戻るための交通費160円を貸しても、私はバッグ一つを失くしただけであれほど心細い思いをしたのに、東日本大震災や津波で何もかも失くした方々は、どんなに心細い思いをしたか、赤羽駅で途中下車をして、赤羽の交番で事情を話早々に大枚160円を返した。

あまりに雨脚が強いので、鍵も身分証明書も、何もかも無しのまま、赤羽駅で途中下車をして、赤羽の交番で事情を話早々に大枚160円を返した。息子の家へ戻るための交通費160円を貸しても、私はバッグ一つを失くしただけであれほど心細い思いをしたのに、東日本大震災や津波で何もかも失くした方々は、どんなに心細い思いをしたか、赤羽駅で途中下車をして、赤羽の交番で事情を話早々に大枚160円を返した。

## よもやま話

### よろずや

### 「青年達は夢から覚めた」

これは、日本経済が高成長期初期の昭和35年から45年頃のことである。当時は、鍋底景気から一転して岩戸景気、オリンピック景気、いざなぎ景気と日本は高度経済成長の初期にあった。労働市場では、中学を卒業して大都市へ集団就職する若者が、金の卵ともて囃されていったほどであった。

昭和41年7月には日本の人口が、1億人を越えた。日本海側、山陰島根県に活火山の三瓶山がある。大山隠岐国定公園の一部で、裾野は人為的に維持された東の原、西の原、北の原、と広大な草原が広がっている。

り、放牧をするのだ。学生青年達は希望と夢を膨らませて集団で開拓入植した。作業や食事と共にする集団生活も合理的で特徴的だった。牛の放牧と酪農である。工夫されたルースバイン牛舎と規模では当時、注目されていた。経営も軌道に乗り、青年達も皆が結婚し家族を持つようになった。

酪農の作業は重労働である。子牛は冬に生まれてくる、夜に産気づけば一晩中付いて見てやらねばならない。冬の自然環境では、酪農の労働は厳しく大変なのだ。昭和38年1月、山麓は4mを越える豪雪で、宍道湖も全面凍結したほどだった。そして、40年代になると離村離農者が出るようになった。

これら原因理由について、開拓者たちの会合の様子をテレビの地方支局が取材して報道した。経営状態はそれほど悪くはないが、更にこれ以上の規模を拡大した展開はできない状態だと言っている。酪農希望者に聞いている、「どの様な計画や今後どの様な方向へ進まれるのでしょうか？」と。離村希望者のコメントは「やはり子供(の将来)でしようなあ」と一言だった。学士8人のサムライ入植だったが、規模を拡大する考えと現状維持で改善や効率化の考えが対立した最後の結果だった。離村したのは規模拡大の考えだった3人と家族だった。考え主張の対立から、共同経営の酪農が嫌になり都会の生活が良く思えたのか、工業生産業等の収入の方が良かったのかは定かではないが、厳しい自然環境では嫁も子供のことを案じたに違いない。希望と夢、膨らんでいた青年達は10年後のことまで考えられなかったのだろうか。

投資して働き、蓄えも十分に貯まっていたのだから。人生を自ら選び、体験したことは子供達にも必ずや伝わっていることであろう。

半世紀後の今では対立の痕跡すら残ってはいない。遠く牛舎を臨み見て。ただ人の心の記憶に残るだけである。放牧は、一時は廃れていたが輸入飼料に掛かる費用と比べて見直されている。三瓶山麓に根付いた学士農園は、世代を超えて営まれている。

## 詩歌・川柳

### 俳句 (つみ草)

春光の椅子にしずまる一日かな 敏子  
梅咲くや円空の眼の柔らかに 安代  
紅梅をふんわりつつむ綿帽子 保子

夕映えに富士の輪郭紀元節 由美  
お手元の梅一輪や祝い膳 明美  
光風の湖渡りたる梅の里 規子  
大寒や赤土震わすアルジェリア 八重子  
少女子や梅の膨らみ待つ朝 とく江

### 追悼

本紙投稿欄の常連でありました四倉光氏が2月19日急逝されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 追悼 川柳 三首 原篤喜英

光さんの 刺しに供せん  
駄句ふたつみつ  
ひと刺しで 四角い議論  
円くなる  
光の刺し 歓喜天をも 容赦せず

### 哀悼

春寒く別れも告げず逝きし朋  
悔しさつる日々の思い出  
今ひとたび酒酌み交わし度き思い  
桜花を待たず旅立ちし朋  
身罷りし朋志半ばなり

### 追悼 四倉氏 短歌五首 鈴木 悟

急ぎし旅に有らざるものを  
ふと想う朋は運命を予知せしか  
図書館に見る厳しき横顔  
言葉無く急逝せし朋悲しかり  
訪れ給え我が夢の中

## サークル案内

### サークル おおみや

- 4月17日(水) ①上野・文化会館「モーニングコンサート」
- ②上野・西洋美術館「ラファエロ展」
- 5月2日(木) 「新宿御苑の散策」(新宿御苑・新宿門に10時集合)

## 江戸時代の古文書を読む会

- 4月6日(土)
- 4月20日(土)

## 放送大学熟年会

定例勉強会  
毎月第2火曜日

## PC教室

毎週火曜日(第2火曜日を除く)  
イベント  
4月4日(木) 大宮公園「観桜の宴」  
5月中旬 古河庭園&六義園  
6月14日(金) 防衛省見学

## 健康体操研究会

3月26日(火) 総会開催いたします。  
3月定例会は、毎週火曜日10時半から、八階講堂にて開催いたします。  
4月の新学期にむけて新たな健康体操が発進します。ご期待ください。

## 同窓会

4月6日(土) 午後1時30分  
入学者の集いで  
学歌斉唱  
5月19日(日) 午後2時  
通常総会

## 編集後記

初桜折しも 今日日はよき日なり  
3月16日、例年より早く東京地方に桜の開花宣言が出されました。開花と聞くとは何となく心も弾みます。  
花の中、多くの方々がめでたく卒業され、そして新しく希望に燃える多くの入学者を迎える季節です。入学者の皆さんは、サークルに加入したり、学習センターに時々顔を出し、多くの人と交わり、キャンパスライフを楽しみましょう。(若松)